

6. 教員研究活動報告

秋庭 裕子

学会発表

- (1) Akiba, H., Hotta, T., Kamibeppu, T., & Ninomiya, A. (2011, May). The harmonization process in Europe, North America, and Asia: Do ramifications of the Bologna Process promote more competition or co-existence? 55th Annual conference of the Comparative and International Education Society. Montreal, Canada
- (2) 堀田泰司、二宮皓、上別府隆男、秋庭裕子（2011年6月）「ボローニャ・プロセスの世界の高等教育に対する波及効果と課題：欧州、北米、アジアの事例研究を中心に」比較教育学会・早稲田大学

研究プロジェクト

- (1) 平成20年度～平成23年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究代表者：堀田泰司「ボローニャ・プロセス（欧州高等教育改革）が及ぼすドイツ、イタリア、マレーシア、アメリカの高等教育プログラムへの影響：制度、内容、学生の流動性に関する事例研究」（研究分担者）
- (2) 平成23年度～25年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究代表者：芦沢真吾「国際教育プログラムの質保証と学習成果」（研究分担者）

阿部 仁

口頭発表

- (1) Abe, J., & Sugihara, M. (2011, May). When Intercultural knowledge is not enough: Personal Leadership – Making a world of difference. NAFSA: Association of International Educators Conference, Vancouver, BC, Canada

講演

- (1) 留学生宿舎から真の国際学生宿舎へ：「次世代小平プラン」の理念と実際、「学士力”育成の場としての新・学生寮生活Ⅲ、地域科学研究会・高等教育情報センター、2011.5
- (2) 異文化理解の心構え、平成23年度留学生担当職員研修会、日本学生支援機構、2011.10

研究プロジェクト

- (1) 大学におけるグローバル人材育成研究会 研究代表者：国立教育政策研究所 徳永保（研究分担者）（2011/4～8）

庵 功雄

著書

- (1) 『新しい日本語学入門(第2版)』スリーエーネットワーク、2012.3
- (2) 『日本語教育文法のための多様なアプローチ』(森篤嗣と共編著)ひつじ書房、2011.10

監修

- (1) 『にほんごこれだけ!2』ココ出版、2011.10

学会発表

- (1) 「日本語学における指示詞」「結束性の観点から見た指示詞」(パネルセッション 研究領域と研究手法の違いに見る文脈指示のコ・ソ・ア)『2011年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.20-23、日本語教育学会、2011.10
- (2) 「新しい文法シラバス策定のための予備的考察」(2011年度世界日本語教育大会 天津)『跨文化交際の日的語教育研究①』pp.689-690、高等教育出版社、2011.8

講演

- (1) 「「やさしい日本語」の本質とその必要性」富士宮市国際交流協会主催講演会、2012.2
- (2) 「「やさしい日本語」の本質とその必要性」北九州国際交流協会主催講演会、2012.2
- (3) 「「やさしい日本語」の本質とその必要性」福岡市国際交流協会主催講演会、2012.2
- (4) 「「やさしい日本語」について」静岡県国際交流協会主催講演会、2011.11
- (5) 「やさしい日本語で伝えるということ」越前市国際交流協会主催講演会、2011.11
- (6) 「「やさしい日本語」が目指すもの」徳島大学主催公開講座、2011.10
- (7) 『「やさしい日本語」で話す／書くために必要なこと ―文法から考える―』日本語教育学会研究集会(北海道地区)、2011.7

論文

- (1) 「看護師国家試験のための日本語教育文法 必修問題編」(岩田一成との共著)『人文・自然研究』6、pp.56-71、一橋大学、2012.3
- (2) 「100%を目指さない文法の重要性」森篤嗣・庵功雄編『日本語教育文法のための多様なアプローチ』pp.79-100、ひつじ書房、2011.10
- (3) 「日本語記述文法と日本語教育文法」森篤嗣・庵功雄編『日本語教育文法のための多様なアプローチ』pp.1-12、ひつじ書房、2011.10
- (4) 「日本語教育から見たやりもらい表現」『日本語学』30-11、pp.50-58、明治書院、2011.9
- (5) 「教育現場への架け橋 第2回テンス・アスペクトをめぐって」『中国語話者のための日本語教育研究』2、中国語話者のための日本語教育研究会、pp.59-67、2011.5

研究プロジェクト

- (1) 『やさしい日本語を用いたユニバーサルコミュニケーション社会実現のための総合的研究』平成22年度～25年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(A)(研究代表者)

6. 教員研究活動報告

- (2) 『中国国内における日本語学習者の縦断的中間言語コーパスの構築と動詞の習得過程の解明』平成 22 年度～25 年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) (研究分担者)

石黒 圭

著書

- (1) (編著)『留学生のための 読解トレーニング ―読む力がアップする 15 のポイント―』pp.1-210、石黒圭編著、熊田道子、筒井千絵、Olga Pokrovska、山田裕美子、凡人社、2011.5
- (2) (分担執筆)「第VI章 文章・文体・表現の基礎知識」(「9 要約のルール」「13 改行のルール」を除く) 中村明・佐久間まゆみ・高崎みどり・十重田裕一・半沢幹一・宗像和重編『日本語 文章・文体・表現事典』朝倉書店、pp.282-317、2011.7
- (3) (編著)『会話の授業を楽しくする コミュニケーションのためのクラス活動 40』pp.1-244、石黒圭編著、安部達雄・新城直樹・有田佳代子・植松容子・渋谷実希・志村ゆかり・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2011.10
- (4) (単著)『この 1 冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本』pp.1-224、日本実業出版社、2012.2

論文

- (1) 「文章理解における一貫性の把握について」『一橋大学国際教育センター紀要』2、pp.3-11、一橋大学国際教育センター、2011.7
- (2) 「話し言葉と書き言葉 ―初年次教育の基礎資料として―」『言語文化』48、pp.15-35、一橋大学語学研究室、2011.12

報告

- (1) 「表現教育の可能性」『成城大学共通教育論集』4、pp.185-235、成城大学共通教育研究センター、2012.3

講演

- (1) 「論文・レポートの日本語をみがく ―読者に内容を的確に伝えるために―」国立遺伝学研究所セミナー講演、国立遺伝学研究所、2012.2
- (2) 「独話・対話・文章対照コーパスの構築と利用 ―『動的コーパス』の構想―」『日本語教育研究リソースとしてのデータベースの構築と利用』東京外国語大学留学生日本語教育センター附属日本語学校と教材開発センター統合 20 周年記念国際シンポジウム「これからの教材開発・教育リソース研究を考える」パネリスト、東京外国語大学、2012.3
- (3) 「コーパスから予測文法を考える」東京大学日本語教育連絡協議会講演、東京大学、2012.3

- (4) 「予測を生かした四技能の活動」国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育セミナー講師、2012.3
- (5) 「予測を生かした読解理論と読解活動」国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育セミナー講師、2012.3

口頭発表

- (1) 「社会科学系基礎文献における語彙と表現 一頻度と共起の様相一」(今村和宏と共著)『第14回専門日本語教育学会研究討論会誌』pp.15-16、専門日本語教育学会、2012.3
- (2) 「生理学のレポートに見られる文末の述語のテンスとアスペクトの使用傾向」『第14回専門日本語教育学会研究討論会誌』pp.17-18、専門日本語教育学会、2012.3

今村 和宏

論文

- (1) 「終助詞「よ」「ね」の「語りかけタイプ」と体の動き」『言語文化』vol.48、pp37-51、一橋大学語学研究室、2011.12

口頭発表

- (1) 「社会科学系基礎文献における語彙と表現 一頻度と共起の様相一」(石黒圭と共著)『第14回専門日本語教育学会研究討論会誌』pp.15-16、専門日本語教育学会、2012.3
- (2) 「日本語教育政策に現場の知恵を生かすために」『日本語教育学会ワーキンググループ報告会』pp.1-7、日本語教育学会、2012.3

講演

- (1) 「3.11 震災以降のメディアリテラシー」津田塾大学言語文化研究所、2011.4.16

太田 浩

学会発表

- (1) “The Strategic Fund for Establishing International Headquarters in Universities”, p.80, 55th Annual Conference of The Comparative and International Education Society, Fairmont The Queen Elizabeth Hotel, Montreal, May 3, 2011.
- (2) “Diverse Approaches to Measuring Internationalization: Case Study of SIH Project”, p.65, NAFSA 2011 Annual Conference & Expo, Vancouver Convention Center West, Vancouver, June 3, 2011.
- (3) “Recent Development of International Education in Japan”, p.43, 23rd Annual EAIE (European Association of International Education) Conference, Bella Center, Copenhagen, September 15, 2011.

6. 教員研究活動報告

- (4) “Evaluation of Internationalization in Japan”, p.27, 23rd Annual EAIE (European Association of International Education) Conference, Bella Center, Copenhagen, September 16, 2011.

シンポジウム

- (1) “Differences of International Student Recruitment and Admissions between Japan and Other Countries,” Developing English Undergraduate Programs in Japan: Pedagogy, Recruitment and Student Life, Kambaikan, Muromachi Campus, Doshisha University, Kyoto, January 21, 2012.
- (2) “How Could Japanese Universities Become Internationally Attractive?: Perspective of International Students,” World University Rankings and “Worldwide Standards” for Universities—How Can Japanese Universities Deal with Structural Changes around the World?—, Liberty Tower, Meiji University, Tokyo, March 9, 2012.

講演

- (1) 「一橋大学の国際教育交流に関する実践的取り組み」、横浜国立大学留学生センター研究会、横浜国立大学、2011.7.1
- (2) 「韓国における国際化（留学生政策）と私立大学の動向」、私立大学の国際化の日韓比較に関する研究会、私学高等教育研究所、2011.7.15
- (3) 「海外留学生の減少傾向と一橋大学における対応策」、日本私立大学協会留学生担当学会議、アルカディア市ヶ谷（私学会館）、2011.9.21
- (4) 「世界の留学生獲得政策とリクルーティングの動向」、第11回日本語教育機関トップセミナー、国際ファッションセンター（KFC）、2011.12.6

論文

- (1) 「大学国際化の動向及び日本の現状と課題：東アジアとの比較から」『メディア教育研究』8 (1)、放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター、pp.S1-S12、2011.12

報告

- (1) 「韓国の教育ハブ構想の現状と課題 —松島グローバル・ユニバーシティ・キャンパスの挑戦」『教育学術新聞』（10月18日）、日本私立大学協会、p.3、2011.10
- (2) 「グローバル人材育成の仕組みづくりを」『公明』74、pp.33-38、2012.2
- (3) 「海外留学生の減少傾向と一橋大学における対応策」『平成23年度（第10回）留学生担当者協議会報告書』、日本私立大学協会、pp.16-25、2012.3
- (4) “Changes in Internationalization of Japanese Higher Education” IAU Horizons, 17(3)/18(1) [February/March 2012], pp.26-27, 2012.2/3

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金「グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究」(研究代表者)(2011~2013年度)
- (2) 文部科学省科学研究費補助金「国際教育プログラムの質保証と学習成果分析」(研究分担者)(2011~2013年度)
- (3) 文部科学省先導的・大学改革推進委託事業研究「各国政府外国人留学生奨学金等による修了生へのフォローアップ方策に関する調査研究—主要な各国政府、海外の主要大学の取り組み—」(研究分担者)(2011年度)
- (4) 文部科学省科学研究費補助金「急変する世界環境下での高等教育の国際化に関する総合的研究」(研究分担者)(2010~2012年度)

小林 文生

報告

- (1) 「認知カウンセリングを援用したフィードバックセッションの効果—学習者の動機づけの保持・促進において—」(二宮理佳と共著)『一橋大学国際教育センター紀要』第2号(通巻14号)、pp.111-122、一橋大学、2011.7

三枝 令子

論文

- (1) 「感情を表す動詞「困る」が示すテンス・アスペクト」『一橋大学国際教育センター紀要』2号、pp.13-22、2011.7
- (2) 「話し言葉における文末「の」の機能」『日本語/日本語教育研究』2、pp.221-235、ココ出版、2011.5

学会発表

- (1) 「介護福祉士国家試験の日本語—外国人介護従事者にとってのことばの問題—」pp.119 第19回日本介護福祉士学会大会発表報告要旨集 大妻女子大学、2011.9.4
- (2) 「介護福祉士国家試験の日本語」『日本語教育学会—看護と介護の日本語教育ワーキンググループの活動報告ならびに今後の課題』第10回早稲田JFC研究会 早稲田大学、2012.2.4

報告

- (1) 「第3章 試験問題の内容と分析」「30年の試験分析委員会を振り返って」「あとがき付表」『平成21年度日本語能力試験(第1回・第2回)分析評価に関する報告書』、国際交流基金・日本国際教育支援協会、pp.221-236、pp.266-284、頁番号無し(あとがき4頁)アスク出版、2011.9.30

書評

- (1) 『「言いさし文」の研究』『日本語文法』11巻2号、pp.137-144、日本語文法学会、くろしお出版、2011.9

研究プロジェクト

- (1) 平成22年度～平成24年度科学研究費補助金（基盤研究C）研究題目「外国人看護師の受け入れ体制整備に関する研究」（研究分担者）

高濱 愛

論文

- (1) 「アメリカン・ソーシャルスキル学習における演技の他者評価（1）：導入的な5スキルに対する学習者のパフォーマンスへのネイティブのコメント」（田中共子と共著）『岡山大学文学部紀要』第55号、pp.7-30、2011.7
- (2) 「米国留学準備を目的とした短期集中型アメリカン・ソーシャルスキル学習セッションの記録（1）—自己紹介と対人関係の開始に焦点を当てて—」（田中共子と共著）『一橋大学国際教育センター紀要』第2号、pp.123-132、2011.7
- (3) 「派遣留学生の教育的トータルサポートシステム構築へ向けて：日本人留学生を対象とした留学前および帰国後教育プログラムの試み」（田中共子と共著）ウェブマガジン『留学交流』2011年7月号、pp.1-11、2011.7
http://www.jasso.go.jp/about/documents/aitakahama_tomokotanaka.pdf
- (4) 「米国留学準備のためのアメリカン・ソーシャル・スキル学習：語学研修生を対象としたセッションの記録」（田中共子と共著）『異文化コミュニケーション研究』第23号、pp.69-100、2011.4
- (5) “The use of social skills by Japanese students while studying in the United States”（田中共子と共著）Journal of International Students Education（『留学生教育』）第16号、pp.125-133、2011.12
- (6) 「米国留学準備を目的とした短期集中型アメリカン・ソーシャル・スキル学習セッションの記録（2）—アサーションに焦点を当てて—」（田中共子と共著）『人文・自然研究』6号、pp.144-163、2012.3
- (7) 「在米日本人留学生のソーシャル・サポート・ネットワーク—ソーシャルスキル自然学習者における検討—」（田中共子と共著）『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』第33号、pp.37-47、2012.3
- (8) 「大学生における対人関係形成の困難に関する原因認知—高齢者、子ども、外国人、社会人、学生との関係について—」『文化共生学研究』第11号、pp.35-44、2012.3

- (9) 「日本人留学生の帰国後のケアを目的とした自助グループ活動 —リエントリー課題への対応とキャリア形成の支援を焦点に—」(田中共子と共著)『異文化間教育』第35号、pp.93-103、2012.3

学会発表

- (1) 「海外留学から帰国した日本人学生を対象とした留学後教育 —ケアとキャリア形成のための自助グループの試み—」(田中共子と共著)『2011年度異文化間教育学会第32回大会発表抄録』pp.150-151、異文化間教育学会第32回大会、お茶の水女子大学、2011.6.11
- (2) “Analysis of Challenges Faced by Japanese Short-term Exchange Students after Studying Abroad: A Focus on the Reverse Culture Shock” (田中共子と共著) (The 1st Global Congress for Qualitative Health Research 2011, p.89) First Global Congress for Qualitative Health Research, Ewha Womans University, Seoul, Korea, 2011.6.24.
- (3) 「日本人留学経験者を対象とした自助グループ的ミニセッション —帰国後異文化間教育の試み—」(田中共子と共著)『第16回JAISE研究大会プログラム・要旨集』pp.49-54、留学生教育学会第16回研究大会、名古屋大学、2011.8.20
- (4) 「在米日本人留学生のソーシャル・サポート・ネットワーク (1) —事前セッションによるソーシャル・スキル人為学習者における検討—」(田中共子と共著)『日本応用心理学会第78回大会発表論文集』p.19、日本応用心理学会第78回大会、信州大学、2011.9.10
- (5) 「在米日本人留学生のソーシャル・サポート・ネットワーク (2) —ソーシャル・スキル自然学習者における検討—」(田中共子と共著)『日本応用心理学会第78回大会発表論文集』p.55、日本応用心理学会第78回大会、信州大学、2011.9.10
- (6) 「日本人留学生の逆カルチャーショックに関する事例的検討 —認知行動の変化と周囲との葛藤を中心に—」(田中共子と共著)『多文化関係学会 2011年度第10回年次大会抄録集』pp.20-23、多文化関係学会第10回年次大会、青山学院大学、2011.9.17
- (7) 「米国留学前ソーシャルスキル学習セッション受講生の留学生活 —対人行動と対人関係を中心に—」(田中共子と共著)『多文化関係学会 2011年度第10回年次大会抄録集』pp.24-27、多文化関係学会第10回年次大会、青山学院大学、2011.9.17

講演

- (1) 「留学後研修 —留学経験を整理しながらキャリア形成を考えよう—」岡山大学社会文化科学研究科・文学部・法学部・経済学部、岡山大学、2011.11.21

6. 教員研究活動報告

鶴田 庸子

翻訳

- (1) 『ポライトネス 言語使用における、ある普遍現象』(田中典子監訳、斎藤早智子・津留崎毅・日野壽憲・山下早代子と共訳) 研究社、2011.9

西谷 まり

論文

- (1) “The Relationship between Language Anxiety, Interpretation of Anxiety, Intrinsic Motivation and the use of Learning Strategies” US-China Education Review, Vol.8, No.9, pp.438-446, 2011.11.8 (with Toshiki Matsuda)

報告

- (1) 「留学生のキャリア支援—全学共通教育科目「日本事情 I」における取組」『一橋大学国際教育センター紀要』第 2 号、pp.113-140、2011.7

学会発表

- (1) 「言語不安とその捉え方に着目して学習方略使用を促す e-learning 日本語教材の開発」日本語教育国際大会(天津外国語大学): 異文化コミュニケーションのための日本語教育②: pp.326-327、2011.8.21
- (2) 「非母語話者日本語教師の教授不安」日本教育工学会(島根大学)、日本教育工学会研究報告会報告集: JET10-5: pp.153-160、2011.10

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C) (2) 「非母語話者日本語教師の教授不安に着目した日本語指導方略の在り方」(研究代表者)(2011~2014年度)

二宮 理佳

報告

- (1) 「認知カウンセリングを援用したフィードバックセッションの効果—学習者の動機づけの保持・促進において—」(小林文生と共著)『一橋大学国際教育センター紀要』第 2 号(通巻 14 号)、pp.111-122、一橋大学、2011.7

教員の海外渡航

秋庭 裕子

- (1) 2011.4.29～5.7 カナダ (モントリオール)
CIES: Comparative and International Education Society への参加と発表
- (2) 2011.9.1～9.5 タイ (バンコク・チェンマイ)
タイにおける日本留学フェアへの参加
- (3) 2012. 2.19～2/26 アメリカ (ワシントン DC)
AIEA: Association of International Education Administrators への参加と大学
訪問調査
- (4) 2012.3.4～3.7 中国 (北京)
短期海外研修の視察と如水会北京支部との交流会参加
- (5) 2012.3.15～3.23 マレーシア (クアラルンプール)
現地調査

阿部 仁

- (1) 2011.5.25～5.26 米国 (カラマズー)
 1. Western Michigan University との奨学金制度についての協議
- (2) 2011.5.27～6.3 カナダ (バンクーバー)
 1. NAFSA 年次総会への出席と発表
 2. 協定大学への HGP プロモーション
 3. UBC と交換留学生問題についての協議
- (3) 2012.2.17～2.18 ドイツ (マンハイム、ハイデルベルグ、オスナブルック)
 1. 提携大学における国際トラック・プログラム、ドイツ語教育プログラム、および学生支援体制の整備状況調査
- (4) 2012.2.29～3.7 スペイン (マドリッド)
 1. 短期海外研修 (スペイン企業派遣) 視察
 2. 来年度の短期海外研修プログラム運営についてベルヘ社担当者との意見交換
 3. 在マドリッド日本大使館訪問

庵 功雄

- (1) 2012.3.7～2012.3.29 北京
北京日本学研究中心 (北京外国語大学) において集中講義
- (2) 2011.8.15～8.22 杭州、天津
漢日対比語言研究会、および、2011 世界日本語教育大会への参加と口頭発表

6. 教員研究活動報告

石黒 圭

- (1) 2012.3.22～3.26 タイ (バンコク)
国際交流基金バンコク日本文化センター講演

太田 浩

- (1) 2011.4.30～5.7 カナダ (モントリオール)
CIES 年次総会への出席と発表
- (2) 2011.5.29～6.5 カナダ (バンクーバー)
NAFSA 年次総会への出席と発表並びに協定校と協定候補校に対する HGP と交換留学制度に関する広報
- (3) 2011.8.7～8.11 中国 (香港)
香港中文大学でのサマースクールの視察
- (4) 2011.8.15～8.20 韓国 (ソウル)
文部科学省科学研究費補助金「急変する世界環境下での高等教育の国際化に関する総合的研究」に関する研究打ち合わせと調査
- (5) 2011.9.5～9.18 フランス (パリ)、ドイツ (ベルリン)、フィンランド (タンペレ)、デンマーク (コペンハーゲン)
文部科学省科学研究費補助金「グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究」に関する調査並びに EAIE 年次総会への出席と発表及び協定校に対する HGP と交換留学制度に関する広報
- (6) 2012.3.22～3.26 ベルギー (ブリュッセル)
文部科学省科学研究費補助金「グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究」に関する調査として、ACA のセミナー参加

小林 文生

- (1) 2011.9.16～19 韓国 (プサンおよびソウル)
JASSO 留学フェア参加および韓国における一橋大学同窓会との情報交換、西江大学との短期海外研修内容打ち合わせ
- (2) 2012.2.27～3.3 韓国 (ソウル)
西江大学 短期海外研修引率及び、次年度以降のプログラム打ち合わせ

五味 政信

- (1) 2011.8.7～8.14 香港、ベトナム (ハノイ)
大学間学生交流に関する用件で香港中文大学、ハノイ貿易大学を訪問

- (2) 2011. 11.23～11.28 ベトナム (ハノイ)
大学間学生交流支援でハノイ貿易大学を訪問
- (3) 2011. 12.7～12.11 フランス (パリ)
ルノー財団創立10周年記念式典に参加
- (4) 2012. 3.11～3.14 中国 (北京)
調査・研究打ち合わせのため、北京大学を訪問

高濱 愛

- (1) 2011.7.22～7.25 台湾 (高雄、台北)
日本留学フェア参加
- (2) 2012.2.27～3.2 オーストラリア (メルボルン)
モナシュ大学における短期海外研修の視察

西谷 まり

- (1) 2011.9.7～9.12 フィリピン (マニラ) 国際交流基金マニラ文化センター
科学研究費補助金のための調査
- (2) 2012.3.8～3.25 中国 (北京) 北京大学
北京大学日本語学部において言語社会研究科第二部門学生の教育実習指導